

【参考資料】

鉄道事業・軌道事業

(1) 改定率一覧

上限認可運賃

	定期外	定期			合 計
		通勤	通学	計	
鉄 道	7.3%	2.3%	2.3%	2.3%	4.0%
軌 道	15.0%	5.1%	5.0%	5.0%	8.4%

実施運賃

	定期外			定期			合 計
	現金	キャッシュレス	計	通勤	通学	計	
鉄 道	7.3%	2.4%	4.9%	2.3%	2.3%	2.3%	3.6%
軌 道	15.0%	5.0%	10.0%	5.1%	5.0%	5.0%	7.5%

(2) 上限運賃および実施運賃 比較表

①鉄道線

○普通旅客運賃（大人）

営 業 キ 口	現行 上限運賃	申請 上限運賃	現行 実施運賃	改定 実施運賃 現金決済	キャッシュレス 割引
0.0 ～ 3.0 キ口	200 円	230 円	200 円	230 円	210 円
3.1 ～ 4.0 キ口	250 円	280 円	250 円	280 円	260 円
4.1 ～ 5.0 キ口	270 円	300 円	270 円	300 円	280 円
5.1 ～ 6.0 キ口	320 円	350 円	320 円	350 円	330 円
6.1 ～ 7.0 キ口	340 円	370 円	340 円	370 円	350 円
7.1 ～ 9.0 キ口	400 円	430 円	400 円	430 円	410 円
9.1 ～ 11.0 キ口	460 円	490 円	460 円	490 円	470 円
11.1 ～ 13.0 キ口	520 円	550 円	520 円	550 円	530 円
13.1 ～ 15.0 キ口	580 円	610 円	580 円	610 円	590 円
15.1 ～ 17.0 キ口	640 円	670 円	640 円	670 円	650 円
17.1 ～ 19.0 キ口	690 円	720 円	690 円	720 円	700 円
19.1 ～ 21.0 キ口	740 円	770 円	740 円	770 円	750 円
21.1 ～ 23.0 キ口	790 円	820 円	760 円	790 円	770 円
23.1 ～ 25.0 キ口	840 円	870 円	760 円	790 円	770 円

○定期旅客運賃（通勤定期1ヶ月）

営業キロ	現行上限運賃	申請上限運賃	現行実施運賃	改定実施運賃
0.0 ~ 3.0 キロ	6,280円	6,510円	6,280円	6,510円
3.1 ~ 4.0 キロ	8,840円	9,170円	8,840円	9,170円
4.1 ~ 5.0 キロ	10,700円	11,090円	10,700円	11,090円
5.1 ~ 6.0 キロ	12,680円	13,070円	12,680円	13,070円
6.1 ~ 7.0 キロ	13,470円	13,860円	13,470円	13,860円
7.1 ~ 9.0 キロ	15,840円	16,240円	15,840円	16,240円
9.1 ~ 11.0 キロ	18,220円	18,620円	18,220円	18,620円
11.1 ~ 13.0 キロ	20,600円	20,990円	20,600円	20,990円
13.1 ~ 15.0 キロ	22,970円	23,370円	22,970円	23,370円
15.1 ~ 17.0 キロ	25,350円	25,740円	25,350円	25,740円
17.1 ~ 19.0 キロ	27,330円	27,720円	27,330円	27,720円
19.1 ~ 21.0 キロ	29,310円	29,700円	29,310円	29,700円
21.1 ~ 23.0 キロ	31,290円	31,680円	31,290円	31,680円
23.1 ~ 25.0 キロ	33,270円	33,660円	31,290円	31,680円

○定期旅客運賃（通学定期1ヶ月）

営業キロ	現行上限運賃	申請上限運賃	現行実施運賃	改定実施運賃
0.0 ~ 3.0 キロ	4,630円	4,810円	4,630円	4,810円
3.1 ~ 4.0 キロ	6,470円	6,720円	6,470円	6,720円
4.1 ~ 5.0 キロ	7,780円	8,070円	7,780円	8,070円
5.1 ~ 6.0 キロ	9,220円	9,510円	9,220円	9,510円
6.1 ~ 7.0 キロ	9,800円	10,080円	9,800円	10,080円
7.1 ~ 9.0 キロ	11,520円	11,810円	11,520円	11,810円
9.1 ~ 11.0 キロ	13,250円	13,540円	13,250円	13,540円
11.1 ~ 13.0 キロ	14,980円	15,270円	14,980円	15,270円
13.1 ~ 15.0 キロ	16,710円	17,000円	16,710円	17,000円
15.1 ~ 17.0 キロ	18,440円	18,720円	18,440円	18,720円
17.1 ~ 19.0 キロ	19,880円	20,160円	19,880円	20,160円
19.1 ~ 21.0 キロ	21,320円	21,600円	21,320円	21,600円
21.1 ~ 23.0 キロ	22,760円	23,040円	22,760円	23,040円
23.1 ~ 25.0 キロ	24,200円	24,480円	22,760円	23,040円

②軌道線

○普通旅客運賃（均一制）

現行上限運賃	申請上限運賃	現行実施運賃	改定実施運賃 現金決済	キャッシュレス 割引
200円	230円	200円	230円	210円

○定期旅客運賃（通勤定期1ヶ月）

現行上限運賃	申請上限運賃	現行実施運賃	改定実施運賃
7,920円	8,320円	7,920円	8,320円

○定期旅客運賃（通学定期1ヶ月）

現行上限運賃	申請上限運賃	現行実施運賃	改定実施運賃
5,760円	6,050円	5,760円	6,050円

(3) 鉄軌道部門収支

(単位：百万円)

	2023年度	2024年度		2025~2027年度(3年間平均)	
		現行	改定	現行	改定
収入	3,577	3,678	3,813	3,773	4,051
支出	3,392	3,837	3,836	4,377	4,373
差引	185	▲159	▲23	▲603	▲322
収支率	105.4%	95.8%	99.4%	86.2%	92.6%

(4) 運賃収入内訳

(単位：百万円)

	2023年度	2024年度		2025~2027年度(3年間平均)	
		現行	改定	現行	改定
定期外	2,007	2,069	2,185	2,100	2,337
定期	1,176	1,233	1,253	1,298	1,339
計	3,183	3,302	3,438	3,398	3,676

(5) 需要見通し

(単位：千人)

	2023年度	2024年度	2025年度 (推定)	2026年度 (推定)	2027年度 (推定)
定期外	9,231	9,187	9,279	9,369	9,459
前年比	—	▲0.5%	1.0%	1.0%	1.0%
定期	7,850	7,908	8,116	8,321	8,528
前年比	—	0.7%	2.6%	2.5%	2.5%

(6) 設備投資計画

設備投資計画

(単位：百万円)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 (推定)	2026年度 (推定)	2027年度 (推定)
安全対策	66	105	236	322	304	378	205
サービス改善	168	119	195	1,108	1,316	1,373	103
その他	4	15	22	465	6	6	6
合計	238	239	453	1,895	1,626	1,757	314

(7) 主要プロジェクトの内容

①ICOCA（全国共通交通系 IC カード）導入

- ・目的 全国共通交通系 IC カードのサービスを導入してキャッシュレス化を推進いたします。
- ・効果 キャッシュレス決済を推進し、利用客の利便性および省力化を図ります。また降車時に両替等にかかる時間が不要となり運行の定時性を向上します。

②新型郊外電車車両の導入

- ・目的 老朽化した車両の代替更新のため、VVVF インバータを搭載した環境にやさしくバリアフリーに対応した新型車両を導入いたします。
- ・効果 低炭素化社会の実現に寄与する消費電力の少ない軽量化車両に更新し、さらなる安全輸送の確保と環境負荷の低減が図られます。

③新型 LRT 車両の継続導入

- ・目的 バリアフリー化の推進、老朽化した車両の代替更新のため、新型低床車両を継続導入いたします。
- ・効果 市内電車をご利用いただく全ての方々の利便性向上に加え、車両修繕作業や経費の削減につながり、安全輸送の確保と経営の健全化が図られます。

④郊外電車変電所の整備

- ・目的 老朽化した変電所を順次更新することにより、郊外電車への電力供給の安定化を図ります。
- ・効果 鉄道をご利用いただく方々に安定した輸送を確保いたします。

⑤駅の整備

- ・目的 沿線自治体のまちづくりと連携し、老朽化した駅施設の建て替えや修繕時に合わせスロープの整備等、バリアフリー化を計画的に推進いたします。
- ・効果 鉄道駅をご利用いただく方々の安全性や利便性向上が図られます。

(8) これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

電車運行にかかる電気代の高騰、老朽化した車両や施設の修繕に必要な原材料価格の高騰により輸送経費が増大する中、2024年3月には市内電車にICOCA等全国交通系ICカードシステムを導入、また2025年以降には郊外電車全線に利用エリア拡大を予定しキャッシュレス化の推進による利便性の向上に積極的に取り組んでまいりました。今後も収支の改善を図りつつ、バリアフリー化の推進、老朽化した車両・施設の更新など、継続して安全輸送の確保と利便性の向上に努めてまいります。

(9) 運賃・料金の多様化の内容

①精神障害者割引制度の導入

鉄・軌道事業をとりまく厳しい経営環境の中、公共交通機関としての役割から、当社についても2025年4月から精神障害者割引を導入し社会福祉に貢献してまいります。

②みきゃんアプリの導入

「県内のイベント情報を知る」「公共交通機関で目的地まで移動する」「イベント・観光施設で体験する」のすべてをシームレスに繋ぐ県民アプリを電車などをご利用いただけるよう導入いたしました。今後も利用いただけるサービスを多様化し利便性の向上を図ります。

(10) 利用者サービスの向上策

①ICOCA（全国共通交通系ICカード）導入

ビジネスや観光で来県される利用客からの希望が多いICOCA等全国交通系ICカードシステムを2024年3月に市内電車へ導入し、多くの方々にご利用いただいております。2025年3月には全ての定期券はICOCA（モバイルまたはカード）となり、通勤定期券はICOCA Web 定期券システムの導入によって、窓口に並ぶことなく、スマートフォンから購入・更新が可能となります。また郊外電車全線に利用エリア拡大を予定しております。今後もキャッシュレス決済を積極的に推進し利便性を向上してまいります。

②鉄道線新型車両導入

VVVFインバータを搭載した新型車両を導入することにより、利用客への快適な移動を提供し、バリアフリー化の推進および環境への負荷低減にも貢献いたします。

③新型LRT車両の導入

現在14両導入しております市内電車の低床車両5000形を追加導入して、移動円滑化目標値70%を達成し、利便性を向上いたします。

④運転保安度の向上

重軌条化・PC枕木の設置・軌道修繕工事等、順次実施して輸送の安全確保に努めます。

以上